



2/25



令和5年度第8回「はばたけ未来の吉岡彌生賞」の表彰式が、大東北公民館で行われました。市内をはじめ全国の児童・生徒から夢と希望に満ちた研究作品を募集し、応募総数82点から21作品が入賞。

今回は約8人の受賞者が出席し、賞状や副賞が贈られました。

2/14



掛川西高校で総合的な探求の時間の一環として、ポスターセッションが行われました。

生徒が掛川市や世界の課題を地域と連携して探求した成果が1枚のポスターにまとめられています。テーマに関心を持った生徒や来場者に発表しました。

2/29



市教育委員会で、令和5年度掛川市教育研究論文表彰式が行われました。

市内の教職員が研究教育活動をまとめた論文。市立小・中学校22校から35点の応募が寄せられ、そのうち最優秀賞・優秀賞を受賞した4人に、佐藤教育長から賞状が授与されました。

2/16



子どもたちが歩いて行ける「子どもの居場所」が地域にできることを目指し「あそび場 IN カケショク」が市役所で開催されました。1歳～12歳の子どもや保護者30人が参加し、手遊びや読み聞かせ、折り紙・将棋教室などを楽しみました。

3/2



海岸防災林による津波被害軽減を目的に、沖之須の弁財天川左岸で潮騒の杜植樹祭が行われました。地元やパートナーシップ企業などから約120人が参加し、クロマツなどの苗木約500本を植えました。

植樹は平成24年からスタート。これまでに約10万本を植えています。

2/21



市民団体「ふっこう支援掛川」が能登半島地震被災地支援で七尾市に向かうことを、久保田市長に報告しました。

同団体は、2月23日～25日にかけて市内中学校で集められた義援金や、市内各団体協力のもと集まった支援物資を被災地に届けました。